

# 東愛知新聞

11月16日 水曜日  
【友引】

発行所:東愛知新聞社 〒441-8016 豊橋市新栄町字鳥瞰62 電話0532(32)3111  
ホームページ:http://www.higashiichi.co.jp



4910856511628 00100

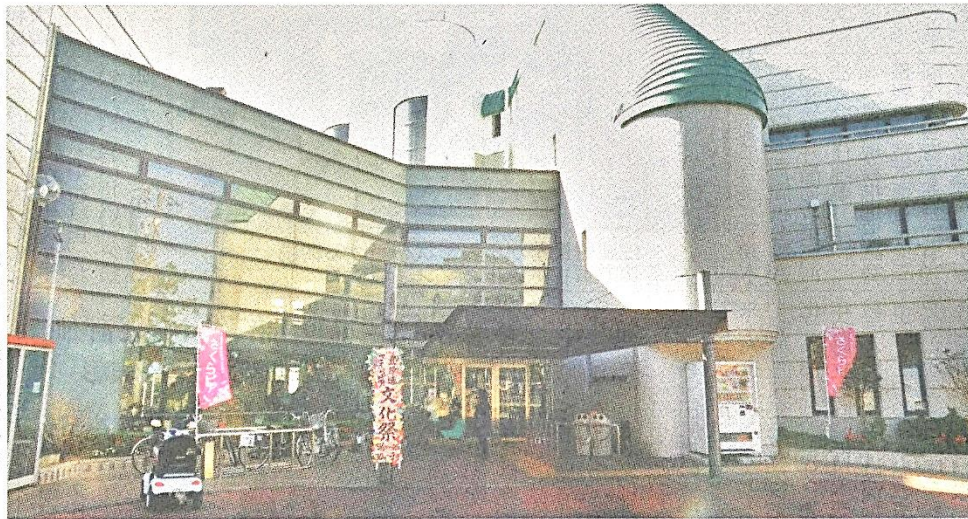
豊橋市東新町の市障害者福祉会館「さくらピア」は今年創立40周年を迎えた。心身に障害のある人やその家族が利用し、機能回復の向上や相互交流、社会参加促進など、障害者福祉の拠点としての役割を担ってきた。15日からは創立40周年記念の文化祭が開幕、多くの来館者でにぎわっている。  
【田中博子】

## 障害者らに寄り添い40年

### 豊橋さくらピア 節目の文化祭開幕

避難所体験など 防災面は特に力

40周年を迎えたさくらピア ―豊橋市東新町で



展示された開館当時の写真

1981年、国際障害者年記念事業として建設された。「豊橋市身体障害者総合福祉会館」の名称で当初は「身障会館」なれと呼ばれたが、99年に「身体」を取って「市障害者福祉会館」に改称した。2004年に市総合福祉センター「あいトピア」開所に合わせ、館の愛称を「さくらピア」とした。

09年からは障害当事者に寄り添っている。40年を迎え「ソフト面は当事者団体で頑張っている。池を埋め立てた場所なので水はけが悪く、経年でライフロインの設備が老朽化するなどハード面の不安はあるが、丁寧に点検していく」と事務長の本田栄子さん。この10年で多くの制度ができ、障害者を取り巻く環境は大きく変わった。ネット社会で直接顔を合わせることが減った部分もあるが、今後もバランスを取りながら当事者発信やネットを使わない人への情報提供に励みたい。人と人をつなぐ場となればと話す。

利用者の作品展や記念バザーなども一方、利用者らの作品を展示する「第22回豊橋連さくらピア文化祭」は3階が会場。一昨年から「3密」防止や観賞の機会を増やそうと、1日だけの展示を6日間に変更。新型コロナウイルス感染症防止として、ステージ発表は中止し、作品展示のみとした。20日まで。豊障連各団体や館内の文化教室、サークルによる絵画や草子芸、書や陶芸、寄せ植え、折り紙などが室内を彩る。40周年



利用者らの作品が並ぶ会場

を記念し、1階で地元施設などのバザーが日替わりであるほか、40年のあゆみを紹介する展示も文化祭を見に来た先着300人に記念カレンダーもプレゼントしている。

令和4年11月16日(水)

東愛知新聞